

【記入例】
省エネ診断申込書

(宛先) 業務用設備等脱炭素化促進事業補助金 事務局

Mail : chiba-hojo@ns-kankyo.co.jp

(1) 基本情報

(2) 事業所の概要

については、漏れなく必ず記入してください。

申請日 令和 7 年 〇 月 〇 日

(1) 基本情報

申請者名称 (会社名)	株式会社千葉県		代表者 職・氏名	代表取締役 千葉 太郎
法人番号	2060001234567			
業種	①製造業 申請事業者の主たる業種を以下の分類から選んで記入してください。 ①製造業、建設業など ②卸売業 ③小売業 ④サービス業 ⑤ゴム製品製造業 (自動車又は航空機用タイヤ及びチューブ製造業並びに工業用ベルト製造業を除く) ⑥ソフトウェア業、情報処理サービス業 ⑦旅館業 ⑧医業を主たる業とする法人 ⑨特定非営利活動法人 ⑩その他(〇〇〇〇)※ ※その他の場合は⑩その他()とし、()内に業種を記入してください。			
資本金の額 又は出資の総額	〇〇万円	法人以外は記入不要です。		常時使用する 従業員数
みなし大企業への 該当(「募集要領」2 (1))	しない	「する」または「しない」を記入してください。 ※みなし大企業は補助対象外です。みなし大企業の定義は、「業務用設備等脱炭素化促進事業補助金『募集要領』」参照。		社会的勢力への 当(「交付要綱」 第4条2)
				「する」または「しない」を記入してください。 ※反社会的勢力の定義は、「業務用設備等脱炭素化促進事業補助金交付要綱」参照。
「CO2CO2 スマート宣言事業所登録制度」への登録	登録済 「登録済」、「未登録」または「登録申請中」を記入してください。 ※未登録の場合は、交付申請を行うまでに「CO2CO2スマート宣言事業所登録制度」に登録申請を行う必要があります。			
ご担当者様 (必ず御記入ください)	所属部署 〇〇部〇〇課〇〇係			
	氏名 千葉 次郎		役職 主任	
	TEL 043-xxxx-xxxx			
	Email *****@*****.****.jp			
診断を希望する 事業所の数	2 カ所			

※診断を希望する事業所の数が複数の場合は、次頁以降(2)～(5)を複製して下さい。

(2) 事業所の概要

診断を希望する事業所 (複数ある場合は別紙に記載してください)	〒〇〇〇-■■■■■	住所：千葉県〇〇市△△1-1-1	
	名称 千葉工場		
	ご担当者様 氏名 千葉 次郎	役職 主任	
	TEL 043-xxxx-xxxx		
	Email *****@*****.****.jp		
診断報告書の送付について	診断報告書は上記ご担当者 Email に電子データで送付します。 紙媒体の報告書を希望する場合は、希望欄、送付先欄に記入してください。		
	☒ 紙の報告書の郵送を希望する		
書類送付先	☐ 上記事業所所在地と同じ		
	☒ 上記事業所所在地と異なる（以下に記入） 〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都〇〇区△△×丁目××番地××号		

以下の数値部分はおおよその数値

業種	食品製造業	省エネ診断実績※	☒ あり ・ なし
主な生産品目	弁当・惣菜類	従業員数	〇〇 名
年間操業時間 ・ 日数	360 日 24 時間	建物竣工年 (西暦)	〇〇〇〇 年
階層・ 延べ床面積	2 階建 10,000 m ²	主な建物の構造 (任意)	・ 鉄筋コンクリート造 ・ ☒ 鉄骨鉄筋コンクリート造 ・ 鉄骨造 ・ 混合構造
敷地面積	9,000 m ²		
建物用途	オフィス ・ 商業施設 ・ 飲食店 ・ ☒ 工場 ・ 宿泊施設 ・ 医療/福祉施設 ・ 運輸/倉庫 ・ 学校/教育施設		
年間光熱水費	5百万円未満 ・ 5百～1千万円 ・ ☒ 1～3千万円 ・ 3～5千万円 ・ 5千万円以上		
右記補助金の 申請有無	◆ 令和5年度千葉県業務用設備等脱炭素化促進事業補助金申請 有（更新設備： ） ・ ☒ 無 ◆ 令和6年度千葉県業務用設備等脱炭素化促進事業補助金申請 ☒ 有（更新設備：ボイラー ） ・ 無		

赤字で枠を囲っている箇所は、該当する内容を赤字にするか枠で囲ってお示しください。

（該当する内容を分かるように記入いただければ問題ございません。）

種類	年間使用量		種類	年間使用量	
電気	1,000,000	kWh・円	重油	10,000	ℓ・円
	(契約電力 600 kW)		その他(灯油)	10,000	ℓ・円
都市ガス	10,000	m ³ ・円	上水道使用量	45,000	m ³ ・円
LPG	10,000	m ³ ・kg・円			

※年間使用量については、可能な限り「Lwh・Lwh」で記入してください。

「各種類」で年間使用量が0の場合は0を入力し、不明な箇所は空欄にしてご提出ください。

(4) 下記設備の有無と、耐用年数を超えて使用している(概ね15年以上)設備の有無

設備名		設置 有無	15年 以上使用	設備名	設置 有無	15年 以上使用
生産設備①(〇〇製造機)		有	有	生産設備②(〇〇加工機)	有	有
受電変圧器		有	有	冷凍機	有	
照明設備		有	有	冷温水発生器		
空調機・パッケージ エアコン	電気方式	有	無	ボイラ	有	有
	ガス方式	無		エアーコンプレッサー	有	無
空調機・パッケージエアコンの熱源機器の設置方式				セントラル方式 ・ 個別方式 ・ 併用		
デマンド監視		あり ・ なし		計測・制御装置		あり ・ なし
その他、エネルギーを消費している設備等があれば記入してください(任意)						
OA 機器、コージェネレーションシステム、太陽光発電システム						

上記項目以外にエネルギー消費量の多い設備
や特徴的な設備等をご記入ください。

(5) 補助金を活用して更新を検討している設備

主に、 診断を希望 する設備	蓄電池・燃料電池・コージェネレーション(熱電供給)・ LED照明器具・空調設備・建築物の屋上又は壁面の緑化工 事・屋根面、壁面又は窓の断熱工事及び遮熱工事・廃熱そ の他の未利用エネルギー利用を図るためのエネルギー供給装置・ 省エネ型自然冷媒機器・再生可能エネルギー供給設備(太陽光 発電設備を除く)	
	その他(生産設備)	

(5) -①空調設備の詳細について(分かる範囲でご記入下さい)

既存設備導入年度		2003年			
		更新前		更新後	
台数		20台		20台	
定格消費電力	空調の 場合	kW		kW	
		冷房	10.0kW	冷房	10.0kW
定格能力	空調の 場合	暖房	11.2kW	暖房	11.2kW
		kW		kW	
年間稼働時間	空調の 場合	冷房	2.59kW	冷房	2.30kW
		暖房	2.99kW	暖房	2.20kW
年間稼働時間	空調の 場合	時間×日		時間×日	
		冷房	12時間×100日	冷房	12時間×100日
年間稼働時間	空調の 場合	暖房	14時間×120日	暖房	14時間×120日

(5) -②照明設備の詳細について（分かる範囲でご記入下さい）

設備の種類	蛍光灯 ・ 白熱灯 ・ その他（ ）	
既存設備導入年度	1995 年	
	更新前	更新後
台数	120 台	検討中 台

(5) -③その他の設備の詳細について（分かる範囲でご記入下さい）

設備の種類	〇〇加工機	
既存設備導入年度	2000 年	
	更新前	更新後
メーカー・型番等	メーカー：〇〇精機 型 番：xx-〇〇△	メーカー：検討中 型 番：
台数	台	台

(5) -④その他の設備の詳細について（分かる範囲でご記入下さい）

設備の種類		
既存設備導入年度	年	
	更新前	更新後
メーカー・型番等	メーカー： 型 番：	メーカー： 型 番：
台数	台	台

(5) -⑤その他の設備の詳細について（分かる範囲でご記入下さい）

設備の種類		
既存設備導入年度	年	
	更新前	更新後
メーカー・型番等	メーカー： 型 番：	メーカー： 型 番：
台数	台	台

(6) 省エネ対策にあたって、課題と感じているところや苦慮されているところなどを御記入ください。

(例) 夏場の空調負荷が高いと感じているため診断により改善したい。

重油などの使用量が多く、エネルギーコストが高いため何か改善したい。

- 夏場の空調負荷が高いと感じている。高効率機器に更新は済んでいるため、運用改善の対策を提案してもらいたい。
- 都市ガスの使用量が多いため、ボイラ中心に省エネ対策を検討しているが、効果を感じられない。

(7) そのほか、アドバイスを受けたい事項や御要望等ございましたら、御記入ください。

- EMS の導入を検討しているが、導入に当たってのメリットや活用方法を教えてほしい。
- 太陽光発電システムやコージェネレーションシステムを導入しているが、ほかに省エネに関する新しい技術などを導入メリットも含めて教えてほしい。

千葉県環境生活部温暖化対策推進課

個人情報の取扱いについて

下記に掲げる個人情報を、利用目的の達成に必要な範囲において、県と省エネ診断事業者との間で共有します。

●個人情報

- ①省エネ診断申込書記載事項
- ②省エネ診断の状況に関する情報
- ③設置している設備に関する情報
- ④その他省エネ診断の運営に必要な情報

●利用目的

- ①対象要件の確認
- ②省エネ診断の状況把握、提案
- ③設備更新の分析、提案
- ④その他省エネ診断事業の適切な運営